

特殊金属エクセル 極薄金属箔の量産体制強化

来年秋めどに設備改造・新設

センサー向け拡販、新分野も開拓

特殊金属エクセル（本社・東京都豊島区、社長C.O.・水谷徳次郎氏）は、埼玉事業所（埼玉県比企郡ときがわ町）において最薄2μmの高機能極薄金属箔の生産体制を強化する。設備の高機能化と生産性向上を目的に、2026年秋までに極箔専用圧延機の改造と極箔専用巻替え設備の新設を実施する。セン

サー用途で今後の受注量増加に備えるとともに航空宇宙や医療機器など幅広い分野への用途展開を図る。▼3面一般に板厚0.1mm

（100μm）未満の材料を指して箔と呼ぶ。同社は長年にわたり最薄10μmの金属箔を生産してきた。22年に専用圧延機を導入して、長年培ったノウハウと融合し、25年から板厚10μm未満の高機能極薄金属箔「極箔」の量産対応を開始した。

最薄2μmの極薄金属箔帯を生産できる圧延メーカーは世界に数社のみ。同社の「極箔」は主にセンサー用途で採用され、ステンレス鋼・銅・ニッケル・チタン合金など多様な材質で最薄2μmまでの製造実績を重ねている。

専用圧延機の改造によって、圧延精度をさらに安定化させ、生産性向上も進める。また専用巻替え設備の新設により、極箔製品の巻取りのノウハウを装置化し、高精度で安定的に巻けるようにする。

